

株主メモ (2026年6月26日現在)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="https://www.ferrotec.co.jp/">https://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 スタンダード

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

年間IRカレンダー

第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	決算発表 決算説明会	株主総会		第1四半期開示	中間決算		中間決算発表 中間決算説明会			第3四半期開示	本決算

お知らせ

2026年12月期は決算期変更の経過期間のため、期末の株主通信のみの作成となります。また、資源削減の観点から本紙をもちまして株主通信の郵送を終了し、当社ホームページへの掲載のみとさせていただきます。皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

[https://www.ferrotec.co.jp/ir/ir\\_settlement\\_report.php](https://www.ferrotec.co.jp/ir/ir_settlement_report.php)



**FerroTec**

株式会社 フェローテック

〒103-0027  
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <https://www.ferrotec.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

# 第46期 決算報告

2025年4月1日～2026年3月31日  
証券コード：6890

**FerroTec**

株式会社 フェローテック

株主の皆さまへ



代表取締役社長  
グループCEO  
**賀 賢漢**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに第46期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第46期は、半導体需要は旺盛な生成AI投資が継続、半導体製造装置も欧米メーカーを中心に需要が伸長しました。また、当社グループは中国をはじめ、マレーシア、日本など各国で増強してきた生産能力を生かし前年を上回る売上高、営業利益を上げることができました。  
今期はメモリ価格上昇を背景に半導体製造装置需要は2桁の強い需要増が予想されており、当社はこれらを最大限取り込むべく意欲的な目標数値を設定し、力強い成長を志向してまいります。その一環として、大手顧客への密着度を高める生産拠点設置を進めております。具体的には、マレーシア北部のクリム第2工場の稼働開始や中国北京、合肥などへの工場建設を予定しており、更なる事業拡大を図っていきます。

株主還元につきましては、株主資本配当率3.5%以上という配当方針に基づき、期末配当は1株当たり74円といたしました。

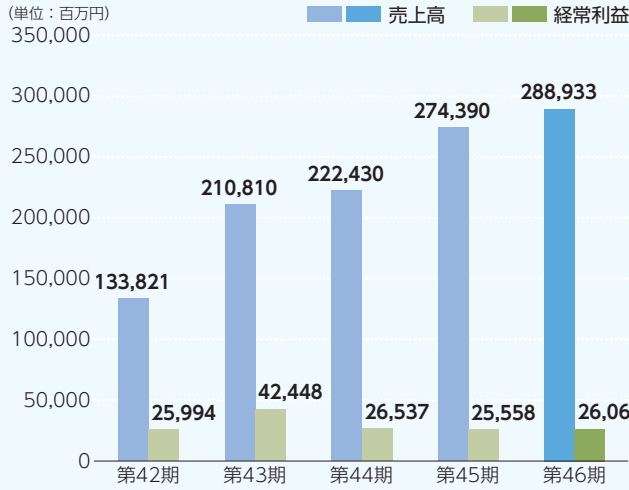
これら施策を進めてこれましたのも、ひとえに株主の皆さまのご理解、ご支援の賜物であると感じております。

当社グループはこれからも事業成長を追求し、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けるよう努めてまいります。  
株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

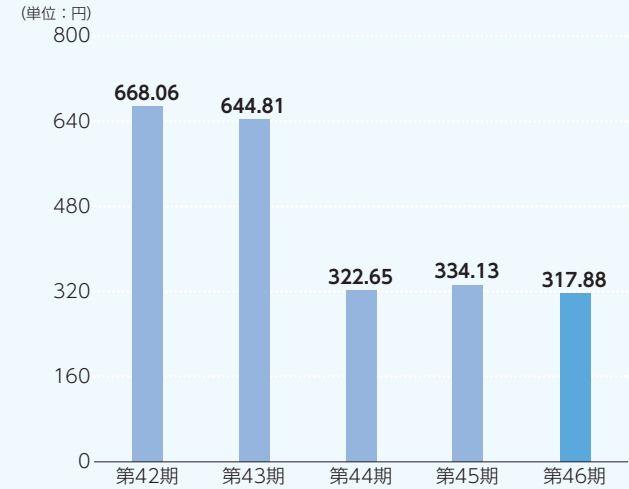
2026年7月吉日

財務ハイライト

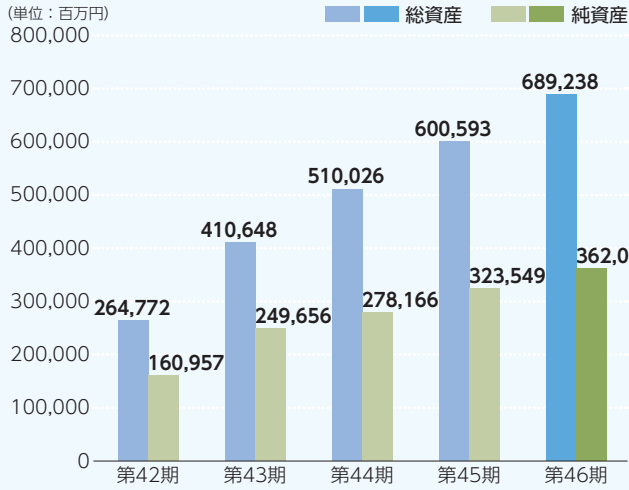
売上高／経常利益



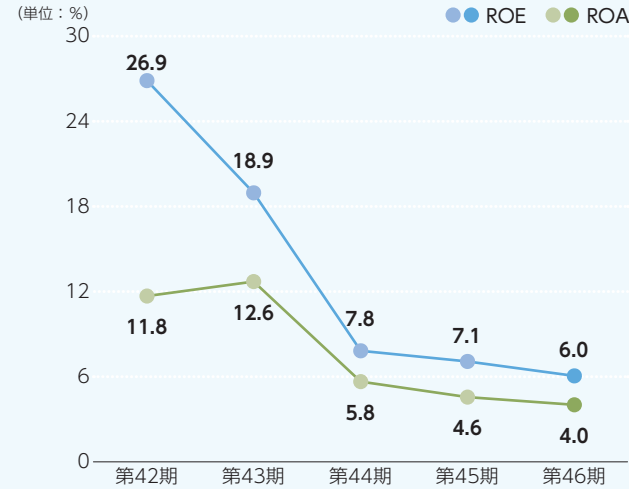
1株当たり当期純利益



総資産／純資産



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)



特集  
1

2026年3月期～2028年12月期  
中期経営計画アップデート

当社は3か年の中期経営計画をローリングアップデート(毎年次の3か年の計画を公表)することにしております。それに伴い、2026年3月期の振り返りとともに足許の状況を踏まえた中期経営計画の内容をお知らせします。特筆すべきこととして、2026年3月期の決算を最後に事業年度の見直しを実施しました。従来の4月1日～3月31日から、1月1日～12月31日に変更いたします。2026年4月1日から始まる来期は、決算期変更の経過期間となり決算対象期間が9か月間(2026年4月1日～2026年12月31日)となります。

中期経営計画の進捗とローリングアップ

2026年3月期の振り返り	業績	▶ 2026年3月期の売上高は2,889億円、営業利益は276億円、当期純利益149億円。新工場の在庫評価減の増加等あり利益伸び悩み ▶ 2026年12月通期予想は、売上高3,500億円、営業利益380億円、当期純利益230億円
	顧客動向	▶ AI関連の半導体投資・生産が活発化するなか、米国半導体顧客の中国外生産(Ex-China)ニーズへの対応が進捗、顧客からの引合いおよび増産要請が強い ▶ 中国半導体の投資・生産の増加、顧客対応を進め、金属加工・セラミックス等の引合い増勢 ▶ サーモモジュールは、光通信モジュール向けの引合いが引き続き堅調
	設備投資	▶ マレーシア・クリム工場の顧客認定・立ち上げは順調、第2工場(セラミックス、石英、金属加工)は2026年中の稼働予定、需要旺盛で顧客から更なる増産要請あり検討中 ▶ 北京工場(洗浄・金属・セラミックス)を新設、顧客対応を強化
	株主還元他	▶ 2026年12月期～2028年12月期にかけて、250億円を上限に自己株買いを実施する方針 ▶ 2026年12月期は増配、通期200円/株(普通配当150円、特別配当50円)を予定

2028年12月までのローリングアップデート	事業成長	▶ 半導体関連の需要が増加するなか、日本・欧米顧客の中国外製造(Ex-China)のニーズに対応してマレーシア等の生産を拡充するとともに、中国において顧客対応を強化し、成長を実現する ▶ 特にAI・データセンター関連事業に注力しつつ、半導体関連、電子デバイス、自動車関連事業を拡大し、成長を追求する
	収益性向上 生産効率向上	▶ マレーシア(クリム、ジョホール)工場の生産拡充・効率性向上による収益率の引き上げ実現 ▶ グループとしてコスト管理・コスト削減のPDCAを推進 ▶ デジタル化・自動化・AI化を展開し、生産効率向上・全面的なコスト削減・競争力強化を追求する ▶ 各事業の研究センターで新製品・新技術の開発を推進・強化、「品質は命」と考え品質管理徹底を継続
	人材強化 企業文化	▶ 企業文化は企業の礎であり、「顧客を尊敬、従業員を尊敬し、勤勉と信用を尊重し、着実に行動し、革新を追求する」指針の浸透活動を継続する ▶ 人材重視を重要な経営戦略とし各事業において研修・トレーニングを実施、人材の採用・育成を推進
	財務 株主還元	▶ 株主還元強化のため、DOEを採用し下限を3.5%に設定、財務の状況等を考慮しながら自社株式の取得を機動的に検討し、総還元性向は50%を目指していく方針(不変) ▶ 2026年3月期～2027年12月期にかけて、グループ資産売却500億円を想定 ▶ 2026年12月期～2028年12月期にかけて、250億円の自己株買いを実施する方針

中期経営計画KPI

- 2026年12月期以降の業績予想・計画を上方修正、2028年12月期までのROE・ROIC目標は引き下げも引き続き各15%・8%を目指す

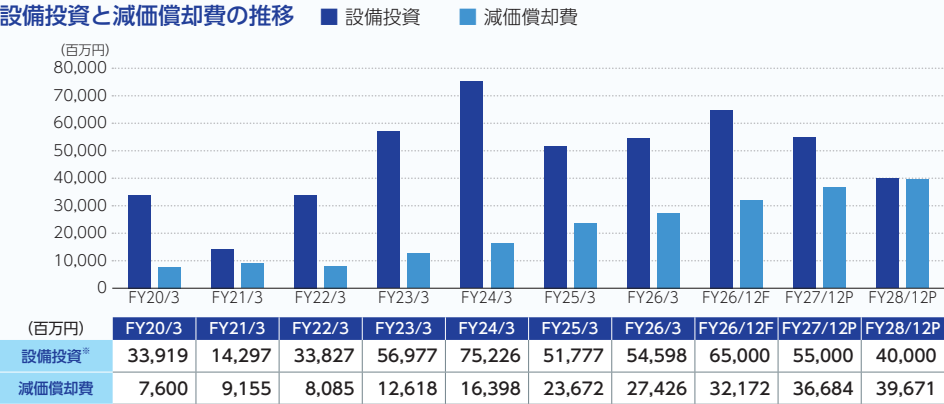
(百万円)		2026年3月期実績	2026年12月期予想	2027年12月期計画	2028年12月期計画
業績	売上高	288,933	350,000	400,000	450,000
	営業利益	27,561	38,000	48,000	57,000
	営業利益率	9.5%	10.9%	12.0%	12.7%
	当期純利益	14,886	23,000	30,000	38,000
資本効率	ROE	6.0%	→		11.0%
	ROIC※1	3.2%	→		7.0%
財務	自己資本比率	37.6%	40.0%	40.0%	40.0%
	設備投資	54,598	65,000	55,000	40,000
株主還元 1株当たり配当金(年間)		148.0円	200.0円	DOE(連結株主資本配当率※2)を採用、下限を3.5%に設定。自社株式取得を機動的に検討、総還元性向50%を目指す	

※1 ROIC =親会社帰属純利益÷(有利子負債+純資産)、純資産は新株予約権、非支配株主持分除く  
※2 連結株主資本=資本金+資本剰余金+利益剰余金-自己株式、連結株主資本配当率=配当金総額÷連結株主資本

設備投資計画

旺盛な半導体需要に応え、設備投資計画を拡大

- 半導体需要の増進および顧客要請を受け、北京工場(洗浄等)の新設に加え、セラミックス等の増産投資、マレーシア工場の追加投資を織り込み、2026年3月期～2027年12月期の設備投資計画は 1,746億円 に増加
- 2026年3月期～2027年12月期でのグループ資産売却500億円を想定(既存方針から不変)



※有形固定資産及び無形固定資産取得額の合計

自己株式取得に係る当面の方針決定と自己株式取得実施について

更なる株主還元充実の一環として株主還元方針を見直し、新たにDOE(連結株主資本配当率)を採用し、下限を3.5%に設定しました。加えて、持続的な収益増強により配当水準引き上げを目指すため、機動的な自己株式の取得について検討し、総還元性向50%を目指すことといたします。

この自己株式取得に係る当面の方針決定に基づき、事業環境や株価水準を適宜勘案しつつ2026年12月期から2028年12月期にかけて250億円を上限に自己株式取得を実施します。当該自己株式の取得の実施については、別途当社取締役会にて決議を行います。

決算期変更のお知らせ

来期は「2026年4～12月」/9か月決算となりますが、当社の連結子会社は12月決算であることから、連結子会社は1月～12月/12か月の売上損益が計上され、当社単体のみ4月～12月/9か月の売上損益が計上されます。よって、9か月決算となることの連結業績への影響は限定的です。



## 中国国内に4か所の新工場を設置

中国の半導体産業は巨大な国内市場に向けた生産力を高めるための政府支援もあり、中国国内資本の半導体製造装置メーカーの成長も著しい状況です。これらニーズをさらに取り込むべく、中国に4か所(北京、合肥、紹興、武漢)の新工場を設置します。

### 4工場の概要



#### 北京工場

**製造品目** 装置部品洗浄、金属受託加工、セラミックス

これまでカバーしていなかった北京に、5億4千万元(約122億円)を投じて拠点を設置することで周辺有力企業との密着度を上げ、需要の取り込みを図ります。2027年6月に操業開始を予定しています。

#### 合肥工場

**製造品目** 再生ウエーハ

再生ウエーハの大型工場で、中国での半導体国産化ニーズに対応していく拠点となります。2026年4月に着工、2027年12月竣工予定です。なお、本工場の設立に伴い外部出資を受け入れるため、再生ウエーハ事業会社は連結子会社から持分法適用会社に異動となります。



#### 紹興工場

**製造品目** 装置部品洗浄、  
パワー半導体用基板

#### 武漢工場

**製造品目** 装置部品洗浄



装置部品洗浄事業は顧客工場への立地の近さが強みとなりやすい事業ですが、紹興・武漢の両工場とも顧客企業からの強い要請を受けて設置することになりました。

## 「富山マラソン2026」に協賛

当社は、2026年11月1日(日)に開催される「富山マラソン2026」にゴールドパートナーとして協賛いたします。

同マラソンは、高岡市役所前をスタートし前田利長公が築いた高岡城の城跡である高岡古城公園を右手に見た後、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている山町筋の街並みを走り抜けます。射水市に入ると、マラソンの中間地点に大会最大の絶景ポイントとなる新湊大橋があります。通常は自動車専用道路である新湊大橋から飛び込んでくる富山湾や立山連峰などの大パノラマを目にしつつ駆け抜け、田園を抜け富山市の富岩運河環水公園のゴールを目指します\*。

高岡市、射水市、富山市にまたがる富山マラソンは、歴史的町並み、海、山などさまざまな風景が楽しめるだけでなく、沿道からは趣向を凝らした数々の応援が送られることから人気が高く、約1万4,000人が参加する大規模な大会です。

当社の石川工場(石川県白山市)では、高性能で使用用途の広い半導体製造装置向けセラミックス部材(ファインセラミックス・マシナブルセラミックス)を開発・量産しています。今回の協賛は、スポーツイベントを通じ地域の皆さまとのつながりを深め、北陸地域の更なる活力創出への寄与をねらうものです。

大会前日に開催される「富山マラソンEXPO」では、ランナーや来場者との交流の場となるブースを出展し、大会を盛り上げます。



新田富山県知事(左)に表敬訪問する賀社長

富山マラソン公式サイト  
<https://www.toyamamarathon.com/>



※コース予定であり、日本陸連による公認コース更新後に変更になる場合があります。

## 街並みや大パノラマも楽しめる 42.195km

ものづくりの街  
高岡市エリア



高岡古城公園



山町筋

海と大地の恵み  
射水市エリア



海王丸パークと新湊大橋

環境未来都市  
富山市エリア



ゴールの富岩運河環水公園

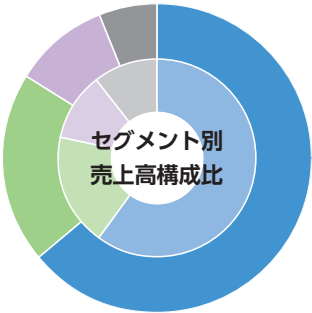
立山連峰(新湊大橋からはもちろん、富山市に入ってからでも大パノラマが広がります)

### フェローテック 石川工場

フェローテックでは、石川工場をセラミックスの戦略工場と位置づけ3つの工場を運営しています。第3工場は、半導体製造装置向け部材高純度ファインセラミックスの量産体制を図るために2025年7月に竣工しました。



セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「半導体等装置関連事業」「電子デバイス事業」「車載関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

	第45期 (内周)	第46期 (外周)
半導体等装置関連事業	60.2%	64.1%
電子デバイス事業	18.4%	19.9%
車載関連事業	11.1%	10.1%
その他	10.3%	5.9%

半導体等装置関連事業

半導体全体および半導体製造装置の需要が伸長するなか、当社の真空シール、各種製造装置向け金属加工製品およびセラミックス製品は米国メーカー、中国メーカーからの注文増などもあり大幅増収、半導体製造プロセスに使用される石英製品、部品洗浄サービスなども、工場稼働率の回復を背景に売上を伸ばしました。一方、CVD-SiC製品は中国工場立上げの難航が影響しやや減収、石英坩堝も太陽光パネルメーカー向け出荷の抑制により減収となりました。

電子デバイス事業

サーモモジュールは、旺盛な生成AIサーバー投資を背景に、関連する光トランシーバーメーカー向けの売上が増加、利益面でも大きく貢献しました。パワー半導体用基板はエネルギー分野向けなどで売上を伸ばしました。センサの収益は前年度の株式会社大泉製作所の決算期変更影響で第1四半期の収益計上が無かったのに対し、今期は収益計上しているため3カ月分純増となっております。

車載関連事業

主要市場であるEV市場が調整局面にあり、サーモモジュール、パワー半導体用基板ともに販売が減少しました。特に年央からのAMB基板の販価下落が利益面でも下押し要因となりました。センサの収益は電子デバイス事業での説明と同様、株式会社大泉製作所の決算期変更の影響のため純増となっております。

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。また、各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結財務諸表（要約）

決算情報についての最新情報、詳細につきましては当社のIRサイトをご覧ください。  
<https://www.ferrotec.co.jp/ir/>



連結貸借対照表

	当期 2026年3月31日現在	前期 2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	338,977	295,367
固定資産	350,260	305,226
有形固定資産	281,107	245,064
無形固定資産	5,795	6,166
投資その他の資産	63,357	53,996
資産合計	689,238	600,593
負債の部		
流動負債	163,052	151,750
固定負債	164,110	125,292
負債合計	327,162	277,043
純資産の部		
株主資本	196,559	188,595
その他の包括利益累計額	62,307	48,235
新株予約権	831	-
非支配株主持分	102,376	86,718
純資産合計	362,075	323,549
負債純資産合計	689,238	600,593

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

	当期 2025年4月 1 日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	29,255	26,066
投資活動による キャッシュ・フロー	△66,856	△39,627
財務活動による キャッシュ・フロー	38,798	18,965
現金及び現金同等物に係る 換算差額	3,864	6,687
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	5,061	12,092
現金及び現金同等物の 期首残高	108,899	96,806
現金及び現金同等物の 期末残高	113,960	108,899

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

	当期 2025年4月 1 日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで
売上高	288,933	274,390
売上原価	207,616	201,029
売上総利益	81,317	73,361
販売費及び一般管理費	53,755	49,271
営業利益	27,561	24,089
営業外収益	9,958	10,318
営業外費用	11,457	8,850
経常利益	26,063	25,558
特別利益	785	350
特別損失	691	862
税金等調整前当期純利益	26,157	25,046
法人税等	7,729	5,746
当期純利益	18,427	19,300
非支配株主に帰属する当期純利益	3,540	3,607
親会社株主に帰属する当期純利益	14,886	15,692

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

	当期 2025年4月 1 日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで
当期純利益	18,427	19,300
その他の包括利益	19,051	28,497
その他有価証券評価差額金	3,297	△183
為替換算調整勘定	14,409	25,560
退職給付に係る調整額	300	239
持分法適用会社に対する持分相当額	1,043	2,881
包括利益	37,478	47,797
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,958	37,368
非支配株主に係る包括利益	8,520	10,429

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



株式情報／会社情報 (2026年3月31日現在)

株式の状況

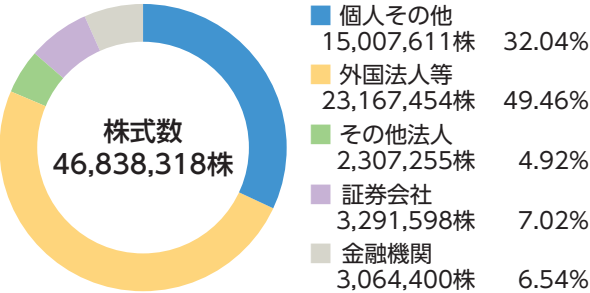
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	47,117,949株
株主数	31,080名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
MSIP CLIENT SECURITIES	3,091,625	6.60
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	2,077,123	4.43
JPモルガン証券株式会社	2,072,338	4.42
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,607,429	3.43
株式会社シティインデックスイレブンス	1,397,300	2.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,347,762	2.87
SIX SIS LTD.	1,252,362	2.67
HSBC-FUND SERVICES HSBC - 006 MF EFM	1,220,000	2.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,012,986	2.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	997,200	2.12

(注) 1.当社は、自己株式279,631株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2.表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 1.自己株式279,631株は上記の円グラフ中の株式数に含まれておりません。  
2.表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	1980年9月27日
資本金	295億4,941万7,527円
株式公開	株式会社東京証券取引所 スタンダード 1996年10月18日(証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	16,858名(連結)

所在地

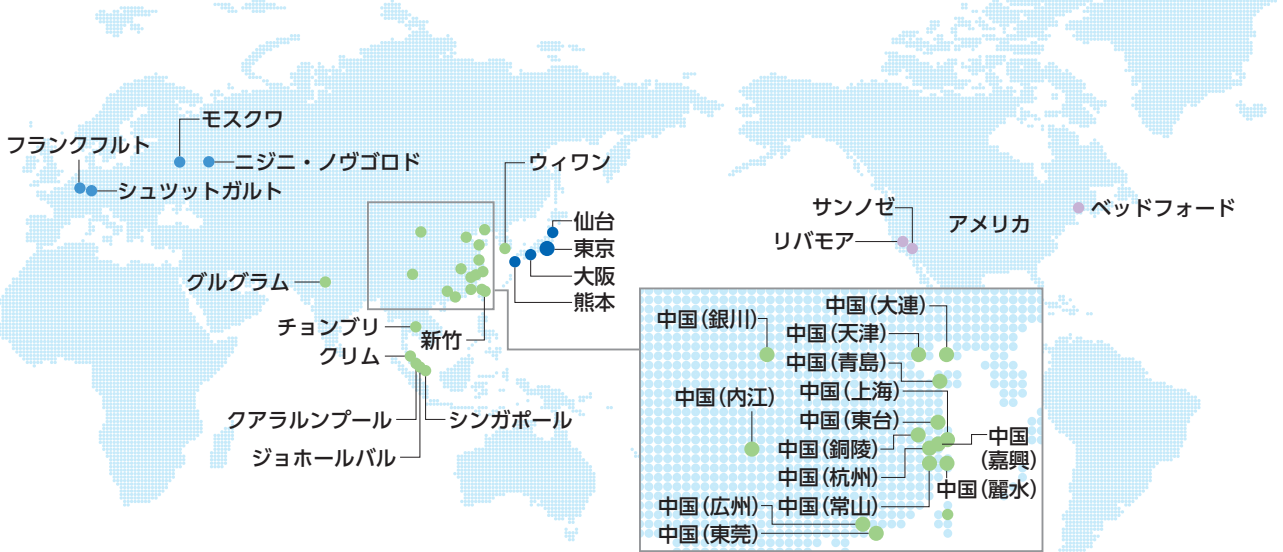
本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
----	---

役員 (2026年6月26日現在)

取締役	
代表取締役社長	賀賢漢
代表取締役副社長	山村 丈
取締役	武田 明
取締役	佐藤 昭広
取締役	藤本 健太郎
社外取締役	磯 巧
社外取締役	勝田 裕子
社外取締役	永守 知博

監査役	
常勤監査役	富屋 久和
社外監査役	松本 拓生
社外監査役	大樂 弘幸

グローバルネットワーク



欧州

- フランクフルト (ドイツ)
- シュツットガルト (ドイツ)
- モスクワ (ロシア)
- ニジニ・ノヴゴロド (ロシア)

アジア

- 杭州
- 上海
- 銀川
- 銅陵
- 東莞
- 東台
- 常山
- 天津
- 大連
- 嘉興

- シンガポール
- 新竹 (台湾)
- ウィワン (韓国)
- クアラルンプール (マレーシア)
- クリム (マレーシア)
- ジョホールバル (マレーシア)
- チョンブリ (タイ)
- グルグラム (インド)

日本

- 東京 [本社]
- 千葉
- 兵庫
- 石川
- 岡山
- 神奈川

- 大阪
- 熊本
- 仙台

米国

- ベッドフォード
- リバモア
- サンノゼ

販売拠点 生産拠点